

授業科目名	英 語 Ⅲ			担当教員	力武 由美	
開講年次	2年前期	セメスター	3	時間数(単位数)	30 (1)	
必修選択	選択	授業形態	演習	使用教室	CALL 教室	
授業の目的	国際活動や留学に必要な英語によるコミュニケーション能力を身につけるため、英語の「読む」「書く」「聞く」「話す」力を総合的に高める。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英文記事・エッセイを読み、内容を理解することができる。</li> <li>2. 英文記事・エッセイの内容を英語で要約することができる。</li> <li>3. 英語でエッセイを書くことができる。</li> <li>4. 英語でプレゼンテーションができ、プレゼンの内容について質疑応答ができる。</li> <li>5. 異なる文化的背景を持つ人と英語で議論ができる。</li> </ol>					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	Unit 1 Belonging to a Group Chapter 1 Marriage, Home	講義 演習	Chap. 1 を予習して授業に参加する。	1	力武	
2	Unit 1 Belonging to a Group Chapter 2 The Power of the Group	講義 演習	Chap. 2 を予習して授業に参加する。	1	力武	
3	Group Discussion	講義 演習	Discussion で述べる意見のアウトラインを準備してくる。	1	力武	
4	Unit 2 Gender in Society Chapter 3 Gender Roles	講義 演習	Chap. 3 を予習して授業に参加する。	1	力武	
5	Unit 2 Gender in Society Chapter 4 Gender Issues Today	講義 演習	Chap. 4 を予習して授業に参加する。	1	力武	
6	Group Presentation	講義 演習	Presentation 用のスライドを作成してくる。	1	力武	
7	Unit 3 Media and Society Chapter 5 Mass Media Today	講義 演習	Chap. 5 を予習して授業に参加する。	1	力武	
8	Unit 3 Media and Society Chapter 6 Impact of the Media on Our Lives	講義 演習	Chap. 6 を予習して授業に参加する。	1	力武	
9	Group Discussion Evaluation	講義 演習	Discussion で述べる意見のアウトラインを準備してくる。	1	力武	
10	Unit 4 Breaking the Rules Chapter 7 Crime and Criminals	講義 演習	Chap. 7 を予習して授業に参加する。	1	力武	
11	Unit 4 Breaking the Rules Chapter 8 Controlling Crime	講義 演習	Chap. 8 を予習して授業に参加する。	1	力武	
12	Individual Presentation	講義 演習	プレゼン用のスライドと原稿を作成してくる。 復習として、自分のプレゼンの方法を振り返る。	1	力武	
13	Exchange opinions with foreign students	講義 演習	これまでに討議をしてきた内容をもとに自分の意見を準備してくる。 復習として、意見交換の内容や自分のコミュニケーションを振り返る。	1	力武	

14	Evaluation of essays	授業 演習	これまで討議してきた内容をもとにエッセイを作成してくる。 復習として、グループ内で受けた批評をもとにリライトする。	1	力武
15	Feedback, reflection and evaluation	授業 演習	リライトしたエッセイを提出する。	1	力武
先行履修 科目					
テキスト	Sanabria, Kim. Academic Encounters level 3: students book. Cambridge University Press. 2012.				
参考文献	Langan, John. College Writing Skills. Fifth Edition. McGraw-Hill. 2000. 吉田友子. アカデミックライティング入門—英語論文作成法. 第2版. 慶應義塾大学出版会, 2015. 鳥飼玖美子. 異文化をこえる英語—日本人はなぜ話せないか. 丸善ライブラリー, 1996.				
科目の 位置づけ	テキストで用いられている記事の内容から、またグローバルコミュニケーション力を高めることを目標とする科目であることから、「国際」「人間」「環境」に関連した科目である。また、グループ・プレゼンテーションを行うため、他者の意見を尊重しつつ、協働して、プレゼン用の資料収集、構造化、スライド・原稿作成、パフォーマンス、評価にいたるまで「チームで働く力」を身につける科目でもある。さらに、先行研究および著作権を尊重するモラルを身に着け、エビデンスに基づく発表を行うことを通して発表内容に対する責任を意識するという点で、「人間の尊重と権利を擁護する力」を養成する科目に位置づけられる。				
ディプロマポリシー との関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
	○		◎		
評価方法	授業・国際交流への積極的な参加及び貢献 (40%) プレゼン資料・原稿及びパフォーマンスの完成度 (30%) エッセイの完成度 (30%)				